

立命館大学環太平洋文明研究センター第 20 回研究会

2018 年 4 月 27 日（金）18:00—19:30

立命館大学衣笠キャンパス学而館 2 階研究会室 1

変化を生きるモンゴル遊牧民

—人口・家畜統計を用いた牧畜研究の可能性—

富田 敬大

（立命館グローバル・イノベーション研究機構 助教：人類学）



（左）放棄された定住集落、（右）第 2 の都市エルデネトの食品市場に並ぶさまざまな乳製品

社会主義体制が崩壊し、市場経済へと移行した 1990 年代初頭以降、モンゴル国では、牧畜経営をめぐる地域間・個人間の格差が大きくなっています。過去四半世紀にわたり、各地域の牧畜経営がいかに再編されてきたのか、その差異と共通性を読み解くためには、国家統計局や地方の行政機関が管理するローカルな統計データと、人びとへの聞き取りや実際の観察などフィールドワークにもとづくデータを組み合わせた分析を行う必要があります。本発表では、モンゴル国の都市周辺地域において、畜産物とりわけ乳製品がどのように利用されているのかを、広域的には首都圏に含まれるボルガン県の 3 地域の事例をもとに検討することによって、家畜とともに生きる人びとの「いま」を読み解きます。

立命館大学環太平洋文明研究センターは「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」ことを目的としてつくられた人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。どうぞふるってご参加ください。

お問い合わせ先：環太平洋文明研究センター事務局 075-466-3335

HP：<http://www.ritsumei.ac.jp/research/rcppc/>